



佐々木 僚平 議員

一括質問方式

その他の質問

- コロナ禍における支援対策について

コロナワクチン接種の 取り組み状況 コロナ感染予防の PCR検査等の計画は

市長 前倒しに伴い、予約順を繰り上げ、7月終了予定。
検査キットが市販されており、PCR検査より低価格、短時間で判定が可能



集団接種会場・・・遠野市総合福祉センター

問.....

コロナワクチン接種が、世界各国からかなり出遅れた日本だが、政府から65歳以上の高齢者接種に7月末への前倒しの指示が出され、今、現在の接種の取り組み状況は。

答(市長).....

65歳以上の状況については、6月10日現在、対象者のうち、およそ9割が予約を完了。1回目の接種完了者は37%、2回目は、約21%である。

問.....

ひとり暮らしの高齢者、自宅介護や寝たき

りの交通弱者の接種方法は。

答(市長).....

交通弱者については、タクシーや福祉タクシー等を活用して、接種につなげる支援を行う予定である。

問.....

答(市長).....

国では病院や高齢者施設に検査キットを配布し、体調不良者の検査の報道もあり、これらを活用しながら早期発見と感染拡大防止に努めたい。

デジタル化とは

市長 少子高齢化が進み、自治体のデジタル化の推進で業務改善行う必要がある

問.....
デジタル庁の新設による、職員の削減や、窓口サービスの低下の影響は。

答(市長).....

デジタル改革関連法案のもと、デジタル化の推進とセキュリティ対策の徹底を両立させ、行政サービスの質を高め、市民生活の向上につなげていくべきと認識している。

少子高齢化により、デジタル化による効率化の必要があるが、デジタル化に不慣れた高齢者の情報弱者を生み出しかねない課題があり、推進と窓口サービスなど行政サービスの維持は車の両輪で考えていかなければならない。

また、新たな業務が想定され、職員にどのような影響があるか冷静に見極めていく必要がある。

子ども本の森遠野 市を担う年齢層に届く情報発信が必要

市長 ホームページを開設した。SNSでも随時発信していく

問.....

運営にかかる市民の費用負担は。

答(市長).....

維持費用は年間1600万円を見込んでいます。市民や全国からのご寄附、国や県の補助金、施設使用料も財源とします。

問.....

オープン後の新刊選書や配架は、どのように考えているか。

答(市長).....

当分の間は新刊の選書は想定していない。今後、来館者の状況などを踏まえ検討していく。

問.....

いちの蔵の使用料は、子供会やスポーツ少年団などの社会教育団体が利用する際に減免されるのか。

答(市長).....

遠野市こどもの本の森遠野条例施行規則により減免の基準を設け

ている。社会教育関係団体が使用する場合は、免除又は半額以内の減額となる。

問.....

いちの蔵と庭での飲食は。

答(市長).....

来館者の水分補給家族や学校行事等における昼食、地域行事等を想定している。

問.....

これから市を担う年齢層に届く情報発信が必要ではないか。

答(市長).....

あらゆるメディアで、都度発信してきた。ホームページを開設し、SNSによる情報発信も始めたので、随時発信していく。

ワクチン副反応 情報収集と周知が必要。接種後の体調不良を相談しやすく

市長 接種前にお知らせと、専門家やかかりつけ医へ相談するなどの案内をしている

問.....

任意接種だが、効果と副反応のリスクの理解を前提としている。市民の副反応の情報収集と周知の必要があるのでは。

答(市長).....

知見も無いままに判断をするのは、極めて危険。医師の意見や判断を的確に伺いながら市民への提供を行っていくことが必要。



問.....

副反応と思われる体調不良など、市民が相談しやすい窓口が必要では。

答(市長).....

接種前にお知らせを行っており、専門家に相談できるようになっている。個々には、かかりつけ医へ相談するなど、場合によってはそのような対応をするように案内している。